

今日(19日)村議会が
開かれます

平成16年度予算審議より一般質問

3月定例議会は、12日に召集され、13日以後休会と

今日19日(金)朝10時から再開します。

今日は最終日で、一般質問のあと

平成16年度の予算審議があります。

補助金は、もらい得か？

新潟県A村の場合

「補助金の後始末」と題するTVのニュース番組で扱った話題を紹介します。
A村は人口2000人の山あいの村、補助金で31箇所の箱物施設を造りました。《村長6期(24年)》

＜補助金事業の内容＞

野山の幸資料館	総事業費	8.3億円
展望洞窟風呂	//	6.9億円
ハーブ園	//	32.0億円
野外ステージ	//	6,700万円
自然活用センター	//	6,300万円
ワールドフード植物園	//	7,400万円

＜現状＞

- どの事業もみな赤字となっています。
- 補助金事業のため、途中でやめることができません。
- 赤字分は村の予算(税金)で穴うめしています。(A村では全村民の固定資産税全部)
- 村も住民も途方にくれているのが現状です。
- 村のお荷物となっています。



新村長の話 = 「補助金事業は、メニューさえ読めればどんなものでも造れます。しかし、あとの運営は、プロでなければできなかったんです！」
「行政主導でなければ地域づくりは進まないという話でしたが、これは間違いでした」
住民の声 = 「誰もリーダーシップを発揮し、責任を取ろうという人が見当たりません」
「早く手を打たないと、益々税金を入れなければならないのです」



山中湖村の場合

山中湖村では、公共事業については「村長が、全部、防衛から補助金をもらってくるんだ」と公然と噂をします。果たして本当でしょうか？
ご存知の通り、山中湖村でも補助金により、多くの箱物公共事業をしています。しかし、これら事業は補助金だけでは成り立っていません。それぞれの事業の総事業費には、補助金の他に多額の借り入れ金(借金)が含まれているのです。
いくら借り入れ、返済の額はどれくらいか……樋口の集計した主なものをご報告します。

総事業費に含まれる借り入れ金とその返済額

事業名	当初借入額	平成16年 元金返済額(円)	平成16年 金利支払額(円)	平成16年返済合計額	返済最終年
紅富士の湯建設	9億6,160万円	92,520,741	14,424,919	1億0694万5,660円	平成27年
石割の湯建設	7億9,350万円	91,527,564	11,910,096	1億0343万7,660円	// 26年
三島由紀夫館建設	2億1,810万円	18,606,575	1,112,883	1,971万9,458円	// 31年
徳富蘇峰館建設	1億3,360万円	5,649,460	1,757,515	740万6,975円	// 30年
文学の森整備	1億8,490万円	12,091,520	2,749,944	1,484万1,464円	// 31年
フローラルドーム建設	2億6,270万円	20,004,463	4,353,543	2,435万8,006円	// 32年
清流の里整備	4億7,990万円	27,824,961	7,691,133	3,551万6,094円	// 29年
花の都駐車場	1億8,680万円	15,550,793	3,215,037	1,438万7,707円	// 24年
交流プラザ整備	9,770万円	9,770,000	156,320	992万6,320円	// 27年
親水公園整備	9,060万円	4,686,928	1,502,418	618万9,346円	// 31年
平成の森用地取得	11億8,870万円	69,920,000	12,064,059	8,198万4,059円	// 32年

作業が
開始され
ました！
現場必見！！

建設事業の総額や補助金の額については、後日報告しますが、これらの事業が驚くほどの借金の原因となっており、このほかの借金を含め、今年度の元利返済総額は、12億円以上(税金は21億円)になります。また、施設の維持管理費を入場料でまかなえている施設があるでしょうか？

これらの事業で、村民は本当に得をしたと言えるでしょうか？本当に得をしたのは、実は、これらを建設した土建業者だけではないでしょうか？

新潟県A村の出来事は、そのまま山中湖村の出来事といえます。村民の自覚が何よりも必要であり責任でもあります。

「ひぐちの村政報告会」を開きます

紙面ではお伝えしきれなかった内容や、説明などをご報告します。多数のご参加をお待ちします。

3月24日(水)夜7時～9時 旭日丘中央公民館 1階(暖房完備)

● 強引なダム(調節池)工事の請負契約

2月13日の臨時議会において、調節池(いわゆるダム)建設の工事を、奥村組・桑原組・タカムラ建設の三社で組む共同企業体による、代金15億8,655万円での請負いが承認されました。

樋口は、この請負業者の中に、多額の銀行からの借入金のうち、8億円以上もの大金が返済不能に陥っている業者があり、村の指名業者選定の基準と根拠を質問しようとし「発言停止」を受け、そのような業者が、税金で行う公共事業を請負うことは、工事の安全性・信頼性は当然のこと、道義的にも問題があるとの趣旨で、反対討論をしている途中に再度「発言停止」

● 公金支出に関する疑義

高額の公金支出に関して疑義があり、現在、監査員に対し「住民監査」請求中です。紙面の都合上、詳細は報告会で行います。